



平成 30 年 9 月期



※ 平成 30 年 9 月末現在を基準に、内容を記載しております。

目 次

1.ご あ い さ つ

2.経 営 方 針

3.主要な業務内容

4.直近の事業年度における主要な業務状況

5.自己資本比率の状況

6.金融再生法開示債権の状況

7.有価証券時価情報

8.地域貢献情報

1.ごあいさつ

日頃、皆様には本組合の事業運営に特段のご支援、ご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

本年も、当JAの経営内容を公開し組合員、利用者の皆様が安心してご利用いただけるよう、ミニ・ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



日本銀行が公表した経済・物価情勢の展望で、消費者物価指数の前年比上昇見通しを2020年度まで下方修正しました。

「経済、物価ともに下振れのリスクが大きい」との日本経済の見通しを示しました。

農業を取り巻く情勢は、TPP11協定が本年12月30日に発効され、今後はブランド力のある農産物は海外に進出するものの、海外からは安い農作物が輸入され、安全性に不安があるなか、消費者がそちらを選ぶようになると日本の農業は衰退してしまいます。農業の衰退は食料自給率の問題にもなり日本国のあるべき姿を問うこととなります。

このようにJAをめぐる環境は厳しいものがありますが、当JAにおいては、
①営農指導と販売力の強化による地域農業の振興と、農業者の所得増大・農業生産の拡大

②JAくらしの活動の実践強化と豊かな地域づくりを目指す総合事業の展開

③自己改革の実践と地域に向けた情報発信の強化

④経営基盤の充実強化

の4点を基本目標とし、経営の健全性・信頼性の確保、競争力の向上に取り組み、地域から選ばれるJAを目指しております。

平成30年度はJAグループが掲げる「創造的自己改革」強化最終年度にあたり、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に向けて積極的かつ多様な事業活動を展開し、地域農業と暮らしに必要なJAを目指していきます。

また、合併20周年を迎え、これまでのご愛顧に感謝し、引き続き信頼して利用してもらえるJAを目指してまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

みやぎ仙南農業協同組合

代表理事組合長 浅野 清

2.経営方針

第六次中期経営計画（H29年度～H31年度）

基本方針「持続可能な農業と豊かな地域社会の実現」

基本目標

I. 地域農業の振興と農業所得の増大

1. 地域営農ビジョンの策定・実践による農業所得の増大
2. 担い手経営体のニーズに応える態勢強化
3. 園芸振興による農業生産普及拡大
4. 消費者との信頼を築く食の安全確保対策
5. 営農指導事業の強化による自己改革の実現

II. 豊かな地域社会の創造

1. 地域に根ざした協同活動の実践強化
2. 地域住民参加型の教育文化活動の展開
3. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

III. 地域を支えるJA経営の確立

1. 組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立
2. 農業協同組合精神に基づく人づくり運動と活力ある職場づくり
3. 経営管理態勢の充実強化
4. JA合併に向けた取り組み強化

経営管理体制

当JAは、事業利用を目的とした農業者等により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選任された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

組合の業務執行を行う理事には、地区毎の正組合員代表者により推薦された者を候補者として提示し、「総代会」において選出しています。JA連営への女性参画促進の具体策として参与制度を導入し、平成18年5月の理事会より2名の参与が出席。また、平成23年6月には役員任期満了に伴う改選が行われ、2名の女性理事が誕生するなど、女性の声を反映する仕組みを構築しております。

さらに、信用事業については専任担当理事を置くとともに、農業協同組合法30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

3. 主要な業務内容

(単位：百万円、口)

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収益	9,288	8,872	8,644	7,882	7,932
信用事業収益	1,381	1,354	1,341	1,215	1,177
共済事業収益	1,201	1,174	1,175	1,158	1,218
農業関連事業収益	6,473	6,128	5,834	5,288	5,332
その他事業収益	231	217	294	219	204
経常利益	203	116	184	152	250
当期剰余金	101	21	123	102	55
当期末処分剰余金	275	64	169	238	220
出資金	4,273	4,230	4,167	4,112	4,041
出資口数	4,273,276	4,230,215	4,167,219	4,112,616	4,041,596
純資産額	7,281	7,230	7,254	7,263	7,261
総資産額	126,855	125,792	126,555	126,055	127,658
貯金等残高	113,224	112,636	113,152	112,994	114,731
貸出金残高	33,642	33,847	35,808	35,595	35,676
有価証券残高	7,770	6,866	6,366	5,952	5,949
単体自己資本比率	13.46%	13.07%	12.72%	11.48%	11.24%
剰余金配当金額	20	20	20	19	19
・出資配当の金額	20	20	20	19	19
・事業利用分量配当の額	—	—	—	—	—
・職員数	363人	346人	334人	314人	281人

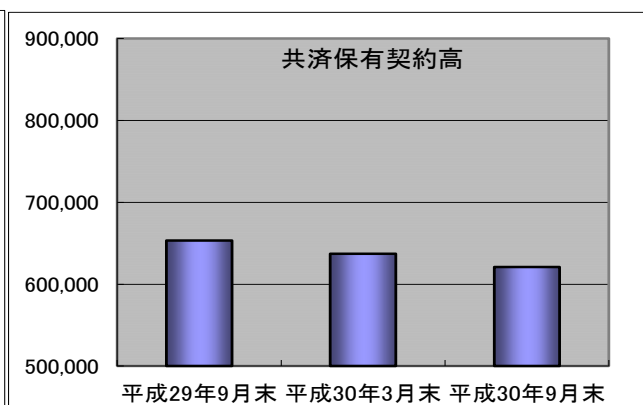
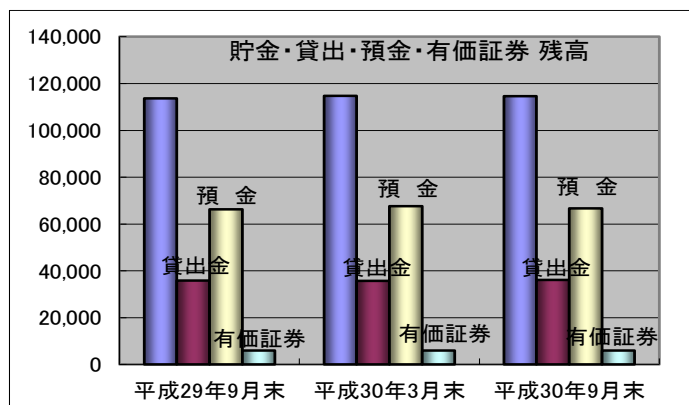
(注)

1. 経常収益は、各事業収益の合計額を表示しております。
2. 当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。
3. 信託業務の取り扱いは行っておりません。

4. 直近の事業年度における主要な業務状況

(単位：百万円)

	平成29年9月末	平成30年3月末	平成30年9月末
貯金(残高)	113,666	114,731	114,556
貸出金(残高)	35,872	35,676	36,111
預金(残高)	66,234	67,690	66,672
有価証券(残高)	5,951	5,949	5,957
共済保有契約高	653,273	637,259	621,181



5.自己資本比率の状況

単体自己資本比率（国内基準適用）

	平成30年3月末	平成30年9月末
自己資本比率	11.24%	11.41%

（注） 9月末の単体自己資本比率（推計値）は、平成30年9月末の自己資本額を算出し、平成30年3月末の信用リスク・アセット額、オペレーショナル・リスク相当額を基準に算出しています。

6.金融再生法開示債権の状況

当 JA では、金融再生法に基づき、貸出金を貸出先の財政状態や経営成績等をもとに区分する、資産の自己査定を行っております。

その結果は、下記の表の通りです。また、当 JA では、貸倒損失に備えた貸倒引当金により保全を行い、貸出債権の健全性の向上に努めています。

金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債 権 区 分	平成30年3月末	平成30年9月末	増減
① 破産更正債権およびこれらに準ずる債権	380	344	△ 36
② 危険債権	44	58	14
③ 要管理債権	14	10	△ 4
④ 正常債権	35,268	35,730	462
⑤ 合 計	35,706	36,142	436
不良債権比率	1.227%	1.140%	-0.087%

※ 不良債権比率＝(①+②+③)÷⑤

7.有価証券の時価情報

（単位：百万円）

保有区分	平成30年3月末			平成30年9月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	5,945	6,651	705	5,945	6,567	622
その他	4	4	0	12	12	0
合 計	5,949	6,655	705	5,957	6,579	622

（注）

1. 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づいております。
2. 取得価額は、償却原価法適用前、減損処理前のものです。

8.地域貢献情報

当JAの新たな基本理念である「食と農を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、夢と笑顔のあふれる地域づくりに貢献します」というコンセプトのもと、地域農業の振興、自然環境保全、安全な食料生産と供給により、安心して暮らせる豊かな地域社会の創造に貢献する活動を展開しております。

また、JAでは総合事業を展開する強みを活かして金融・共済機能サービスを提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献にも努めております。

■ 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金の残高

組合員をはじめ利用者の皆様や、事業主の皆様からの貯金をお預かりしている残高は、以下の通りです。

平成30年9月末現在（単位：百万円,未満切捨）

＜種別＞	＜残高＞
普通貯金	55,423
定期貯金	57,216
定期積金	1,917
合計	114,556

(2) 貯金商品

貯金商品は、当座性貯金（総合・普通・当座等）から定期性貯金（定期貯金・定期積金）など各種目的・期間にあわせてご利用いただいております。
また各種キャンペーンを展開し、地域の金融機関として事業展開を行っております。

■ 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金の残高

組合員をはじめ、地域住民の皆様に必要な資金の貸出をしております。また、農業関連産業等への貸出により、地域経済の発展・向上に貢献しております。

平成30年9月末現在（単位：百万円,未満切捨）

＜区分＞	＜残高＞
組合員	30,211
地方公共団体等	4,078
その他の	1,822
合計	36,111

(2) 融資商品

融資の商品として、住宅ローン・マイカーローン・教育ローン等の各種ローンを取り揃えております。
農業関連経営に必要な資金として、集落営農組織や担い手を対象に、スーパーアグリサポート資金や、農業者を対象としたアグリマイティ資金をご提供しております。さらに、制度資金等各種取り揃えております。

■ 農業の振興と多面的機能

農業は、単に食料を生産するだけでなく、水田や畑の保水能力により水害を防止したり、多様な生態系を維持したりと、環境保全の役割も担っています。

当JAでは、このような多面的な機能を持った農業を維持発展させ、人々に安全・安心、そして新鮮な食料を提供するとともに、環境問題にも取り組んでおります。

- ・ 農業用使用済みプラスチックの適正処理推進
- ・ 農畜産物の安全・安心システム(トレーサビリティ)の徹底
- ・ こだわり米等の環境保全米の拡大推進
- ・ ポジティブリスト制への対応強化
- ・ 農業生産工程管理（GAP）の推進

■ 次世代への食農教育の取り組み・食と農をつなぐイベントの開催

当JAでは、子どもたちに作物を育てる楽しさを知ってもらおうと、地元小・中学校の児童・生徒へ食農教育活動を行っています。青年部・女性部が中心となり、収穫まで栽培体験の指導をしています。また、そうした活動の体験をもとに、子ども達にかべ新聞を作成してもらい、「あぐりキッズ農業体験活動かべ新聞コンクール」を開催しています。



■ 地域の仲間作りへの取り組み

地域女性を対象とした懇話会「虹色テラス」や、年間を通して食や農業、健康や暮らしに関する講座を行なう女性大学「カレッジ輝楽里」を開き、JA 事業に興味・関心を持ってもらう取り組みをすすめています。



■ 支店協同活動の展開

継続して開催してきた春のグリーンフェアや秋のJAみやぎ仙南フェスティバルに加え、「支店協同活動」を各地区事業本部単位で展開しています。内容は、地域のお祭りや交通安全運動や環境美化活動など様々。組合員や地域住民との結びつきを深め、地域活性化につなげるために取り組んでいます。



JAみやぎ仙南のコンセプト（基本理念）

「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、
夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。

≪JAみやぎ仙南のスローガン≫
かたちにして、みんなの夢を
～Create Your Future～

存在意義

農業を通じて、生命・環境・文化を守ります

経営姿勢

～組合員に対しての経営のあり方～
夢と活力ある地域農業の振興につとめます
～社会（地域住民・生活者）に対しての経営のあり方～
安全・安心な「食」とどけ、豊かで美しい社会をつくります

行動指針

～組合員に対しての行動指針～
熱意をもって、よりよいサービスを行います
～職員同志の行動指針～
自ら変化を起こし、チャレンジ精神をもって行動します
～社会（地域住民・生活者）に対しての行動指針～
未来をみつめ、多様に行動します



JAみやぎ仙南のもつ「地球・自然・人間マインドウェーブ」のデザインコンセプト。
そして、キーワードとなる“親しみやすさ・行動的な・若々しい”を軸に地域性をもたせデザインしたシンボルマークです。

デザインは農業の源である地球を円に例え、筆の流れは澄みきった水の流れて仙南「S」から表現しています。
また、蔵王の山なみを表現している形はみやぎの「M」で地域性とJAみやぎ仙南の大きさを表現しています。

JAみやぎ仙南にかかわるすべての人々が、心のやすらぎ・やさしさ・新鮮さを提供し、親しみのあるJAに発展していく願いが込められています。

また、21世紀型JAの姿を社会に発信していく意志をも表現しています。

メインカラーのJAみやぎ仙南の緑（仙南グリーン）は地球の緑色であり、未来への成長と自然環境を深く愛する願いを込めています。サブカラーのJAみやぎ仙南の黄（仙南イエロー）は自然からの恵みの黄色であり、自然に対する感謝の想いを表現しています。



平成30年9月30日現在

管理本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1111(代)
金融共済事業本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1288
営農経済事業本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1870
本店営業課	柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3	0224-55-1586
柴田地区事業本部	柴田郡柴田町槻木上町二丁目1-15	0224-56-1212
槻木支店	柴田郡柴田町槻木上町二丁目1-15	0224-56-1211
大河原支店	柴田郡大河原町字中島町3-7	0224-53-1560
村田地区事業本部	柴田郡村田町大字村田字押切107	0224-83-2291
村田支店	柴田郡村田町大字村田字押切107	0224-83-2221
川崎地区事業本部	柴田郡川崎町大字前川字裏丁181	0224-84-2222
川崎支店	柴田郡川崎町大字前川字裏丁181	0224-84-2220
蔵王地区事業本部	刈田郡蔵王町大字円田字白山前8	0224-33-2115
蔵王支店	刈田郡蔵王町大字円田字西浦上1-1	0224-33-2111
白石地区事業本部	白石市福岡長袋字八斗蒔1	0224-25-3531
白石支店	白石市大平中目字ハツ森脇31	0224-25-1487
福岡支店	白石市福岡長袋字山の下37	0224-26-3114
七ヶ宿支店	刈田郡七ヶ宿町字関134	0224-37-2101
角田地区事業本部	角田市角田字町29	0224-63-3132
角田支店	角田市角田字町29	0224-63-3140
丸森地区事業本部	伊具郡丸森町字除25-1	0224-72-2270
丸森支店	伊具郡丸森町字除25-1	0224-72-1204

JAみやぎ仙南 ディスクローチャー誌

発行日 平成30年11月30日

編集・発行 みやぎ仙南農業協同組合 総務部経営企画課

電話 0224-55-1905 FAX 0224-55-1115

<http://www.ja-miyagisennan.jp>